

球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.4

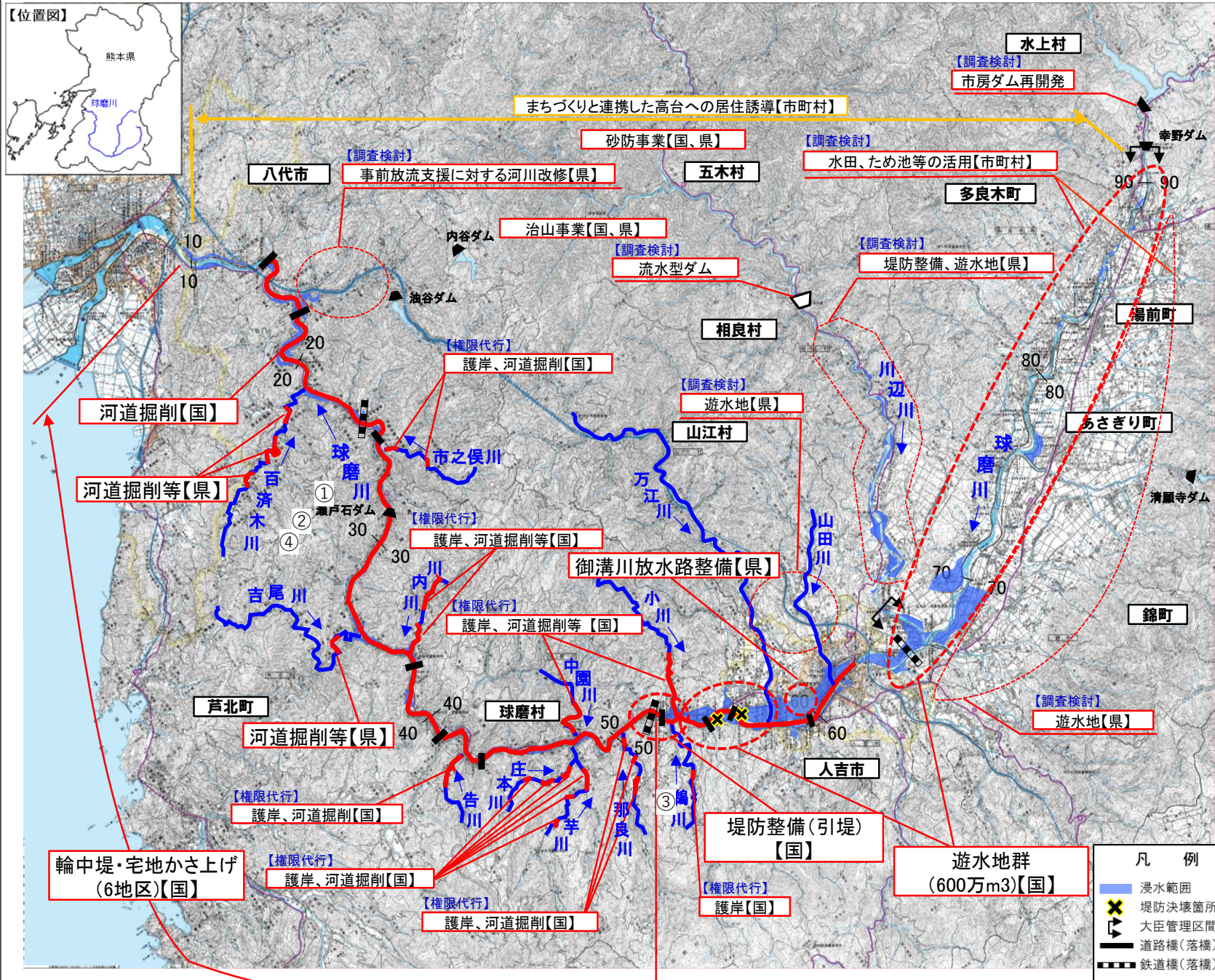


球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況について

- 令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、球磨川においては、国、県、市町村等が連携し、被災した箇所、河道掘削、堤防整備、輪中堤・宅地かさ上げ、遊水地等の取り組みを集中的に実施することにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、越水による氾濫防止※（人吉市の区間等）、家屋の浸水防止※（中流部）など、流域における浸水被害の軽減を図る。

※従来から検討してきた貯留型ダム並びに再開発後の市房ダムによる洪水調節の効果を含む

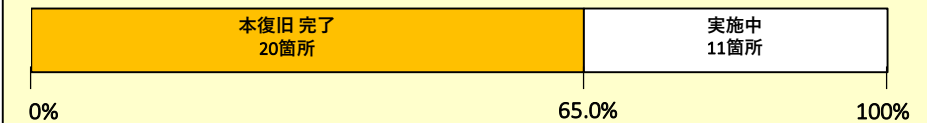
- 令和3年出水期までに、浸水被害箇所等の堆積土砂の撤去やタイムラインの改善等を緊急的に実施。



【ハード対策の進捗状況】 令和3年10月末時点

- ①河道掘削
令和3年出水期まで：約70万m³掘削完了
令和3年出水期以降：約30万m³掘削完了、引き続き推進を図る
- ②輪中堤・宅地かさ上げ（6地区）
地元協議中、測量実施中
- ③引堤（延長約600m）
地元協議中
- ④遊水地（調節容量約600万m³）
地元協議中、現地測量（ドローン調査）実施済み
地質調査中

- 災害復旧（堤防決壊を含む）



最近の動き

護岸施工状況（八代市）



R3.11撮影

土砂撤去状況（球磨村）



R3.10撮影

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトについて
八代河川国道事務所HPで進捗状況を公表中▶

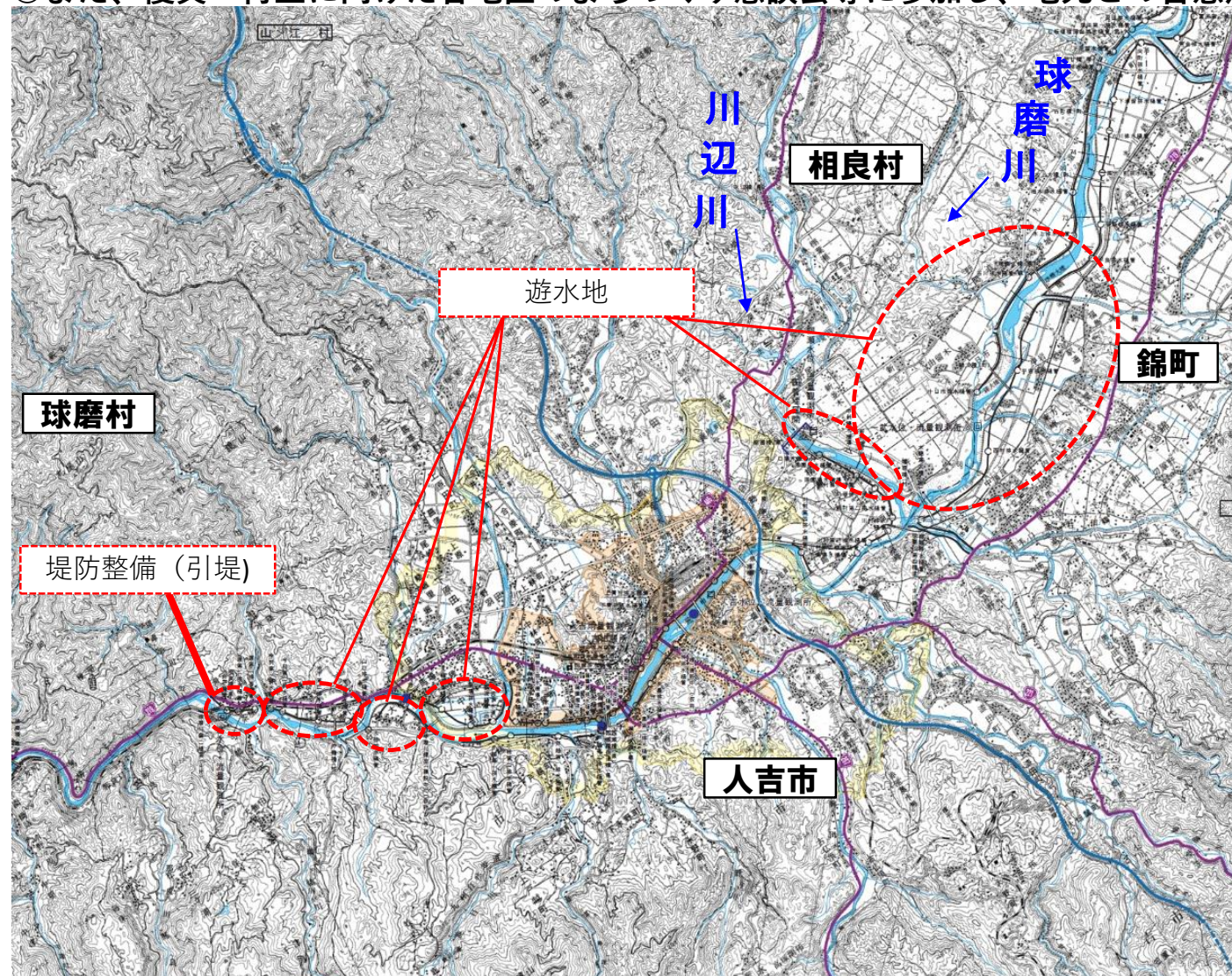


球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.4



引堤・遊水地の進捗状況について

- 引堤・遊水地について、県及び関係市町村と連携を図ったうえで対象となる各地区で事業説明会を令和3年2月から順次開催。
(4市町村 計19回開催 ※11月25日時点)
- 令和3年11月6日に人吉市の大柿・中神地区、11月21日に球磨村の渡地区の住民の方を対象に治水対策(遊水地)及び復興まちづくりに関する説明会を開催。地質調査結果、今後の土地利用を含めた遊水地等配置案、復興まちづくりに伴う住まいの再建等のイメージ、今後のスケジュールについて説明。
- また、復興・再生に向けた各地区のまちづくり懇談会等に参加し、地元との合意形成に努めている。



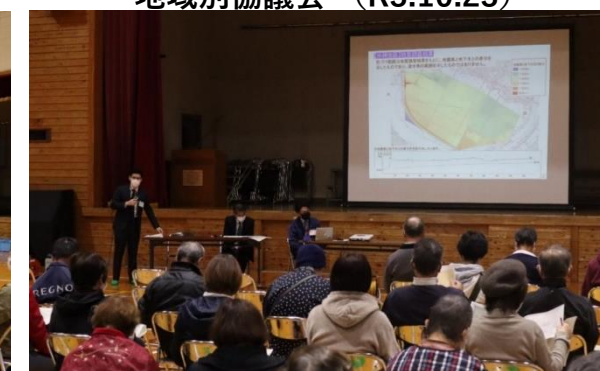
球磨村
事業説明会 (R3.10.15)



球磨村神瀬地区
地域別協議会 (R3.10.23)



人吉市大柿地区
遊水地事業説明会(R3.11.6)



人吉市中神地区
遊水地事業説明会(R3.11.6)



球磨村
遊水地事業説明会(R3.11.21)

1 現地調査

2 設計・検討

3 用地協議

4 工事

完成

① 事業の説明

② 現地立入の説明

③ (現地調査・測量等)

④ 設計・検討

⑤ 設計説明

⑥ 用地測量等

⑦ 用地協議

⑧ 工事説明会

⑨ 工事着手

⑩ 工事完成

関係機関協議

球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.4

ソフト対策の取組状況 ～平時からの住民等の防災意識醸成～

■令和3年度各教育機関での出前講座

- 令和2年7月豪雨の概要や、流域治水プロジェクトの説明を行い、流域全体での取り組みを学習してもらう。
- 「避難するために必要な情報」や避難時に潜む「用水路等の災害のリスク」を考え、フィールドワークを行い、実際に防災マップを作成することで避難時の自助・共助の意識を高めている。

熊本高専(5年生)への防災教育
(R3.10.4)八代高校(1年生)への防災教育
(R3.10.15)八代高校(1年生)への防災教育
(R3.10.22)

球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.4



国土交通省



熊本県



人吉市

ソフト対策の取組状況 ～水害リスクの周知～

■洪水標識の設置 ～令和2年7月豪雨で浸水した深さを示す「洪水標識」の設置（国・人吉市・八代市）～

○令和2年7月豪雨時の浸水深を示す「洪水標識」を生活空間である「まちなか」に表示することで、日頃から水防災への意識を高め、次世代に伝える記録として残しつつ、洪水時に命を守るための住民の避難鼓動の目安とすることで、被害を最小限にとどめることを目的に設置。今後も、順次被災箇所を設置予定。

人吉市紺屋町・九日町と協働で設置
(R3.3.23)

洪水標識看板

八代市坂本町松崎地区と協働で設置
(R3.9.29)

洪水標識看板

人吉市温泉町と協働で設置
(R3.10.29)

洪水標識看板



九日町町内会長

人吉市



八代市

松崎地区代表



人吉市

温泉町町内会長